

第1日目 3月22日 (木) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈農業・農村〉	
9:00	111 広田 嵩（砺波市立散村地域研）：砺波平野における居住景観の変化	
9:20	112 清水克志（秀明大）：大正期から昭和戦前期における西南日本へのキャベツ生産の拡大—広島県呉市近郊の事例	〈地域資源〉
9:40	113 柏木純香（名古屋大・院）：農業生産現場における情報通信技術の受容過程—JA西三河を事例として	211 原 真志（香川大）：地域とストーリーテリング—MBAにおける地理的創造性教育の実践を通して
10:00	114 池田和子（農政調査委員会）：オーセンティックな体験としての援農活動—愛媛県「八幡浜お手伝いプロジェクト」における援農者を事例に	212 内藤 亮（東京学芸大・院）：中心商店街活性化事業としてのまちゼミの全国的特徴とその課題・可能性
10:20	115 中岡雄一郎（横浜国立大・院）：屋上菜園の立地からみる都市農業の発展過程	213 山本峻平（立命館大・院）ほか：古写真データベースのまちあるきへの活用
10:40	116 石原 肇（大阪産業大）：生産緑地2022年問題に関する農家意向調査—東大阪市の事例	〈地域計画2〉
11:00	〈地域計画1〉	214 多田忠義（農林中金総合研）：空き家にかかる自治体法規と地方銀行融資の地域差
11:20	117 齊藤由香（金城学院大）ほか：緑から読み解く都市の持続的文脈—名古屋市の歴史的町並みに現れる緑への注目	215 楢引素夫（青森大）：北海道新幹線開業に伴う青森・函館市民の意識変化
11:40	118 山下潤（九州大）：スウェーデンにおける環境技術国家戦略下のLiving Lab（リビング・ラボ）事業—マルメ市を事例として	216 久井情在（東京大・院）：「地域振興のリスケーリング」としての市町村合併—「平成の大合併」のスケール概念による解釈
12:00	119 飯嶋曜子（明治大）：EUのボトムアップ型農村開発LEADER事業の展開—マルチレベル・ガバナンス論の観点から	217 舟木 睦（大阪大・院）：離島における住民の食料品アクセス—隠岐の島町を事例に
		218 関口達也*（中央大）・樋野公宏（東京大）：GPSの位置情報と購買履歴データによる移動販売車の利用実態把握の試み
12:00	昼 休 み	

第1日目 3月22日 (木) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
シンポジウムS4		
不動産の利活用から 地方都市再生を考える		
オーガナイザー：箸本健二・武者忠彦		
9:00-9:10 [趣旨説明]		
S401 箸本健二(早稲田大)ほか:地方都市における未利用不動産と都市マネジメント	411 宮城豊彦(東北学院大)ほか:中国・北朝鮮国境,長白山火山口湖の大規模地すべり災害リスク	9:00
9:10-9:30		
S402 箸本健二(早稲田大):地方都市の中心市街地における未利用不動産の実態—全国553自治体に対する調査から	412 柳澤英明(東北学院大)ほか:中国・長白山天池の大規模地すべりに伴う津波の数値解析	9:20
9:30-9:50		
S403 駒木伸比古(愛知大):中心市街地における都市・商業機能の集積状況—中心市街地活性化基本計画認定都市に注目して	413 山本晴彦(山口大):洪水浸水想定区域に立地する老人福祉施設における洪水リスクの評価—延岡市北川地区と南富良野町幾寅地区を事例として	9:40
9:50-10:10		
S404 菊池慶之(島根大):地方都市の中心市街地における不動産証券化の可能性	414 岩井優祈(筑波大・院):土地利用に基づく津波浸入リスクの変化—浜松市沿岸地域を事例に	10:00
10:10-10:30		
S405 佐藤正志(静岡大):中心市街地活性化に対する地方自治体の政策対応とその意義—民間投資の促進と政府間関係に着目して	415 牛山素行(静岡大):豪雨災害による人的被害と地形の関係について	10:20
10:30-10:50		
S406 武者忠彦(信州大):リノベーションによる都市の再生—長野市門前エリアの事例	416 黒木貴一(福岡教育大)ほか:2017年九州北部豪雨による学校被害と地形	10:40
10:50-11:10		
S407 久木元美琴(大分大):中心市街地における空き店舗等の福祉への利活用の障壁と可能性	417 大貫靖浩(森林総合研)ほか:沖縄本島最北部における森林伐採後の土砂移動量と林床環境との関係	11:00
11:10-11:20 [総括と展望]		
S408 武者忠彦(信州大)ほか:地方都市における未利用不動産と都市マネジメント	418 菅 浩伸(九州大)ほか:湿潤熱帯域の浅海底地形学—石垣島名蔵湾の沈水カルスト地形の発達	11:20
11:20-11:35 [コメント] 富樫幸一(岐阜大)		
11:35-12:00 [総合討論]	419 伊藤晶文*(山形大)・小岩直人(弘前大):陸上および海底地形を結合したDEMを用いた2011年東北地方太平洋沖地震津波後の海浜地形変化の解析—宮城県蒲生干潟周辺を事例に	11:40
		12:00
昼 休 み		

第1日目 3月22日 (木) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	(水文)	(思想・表象)
9:00	511 堀内雅生 (法政大・学) ほか：箱根山噴火 (150629) 後の周辺水環境に関する研究 (4)	611 近藤暁夫 (愛知大)：「ポップ地政学」本の掲載地図批判—主に高校地理レベルの内容の誤りについて
9:20	512 猪狩彬寛 (法政大・学) ほか：浅間山周辺地域の水環境に関する研究 (4)	612 大平晃久 (長崎大)：サイト・スペシフィック・アートとモニュメント—国東半島芸術祭の事例から
9:40	513 浅見和希 (法政大・院) ほか：御嶽山噴火 (140927) 後の周辺水環境に関する研究 (6)	613 北西諒介 (京都在・院)：行政と市民活動団体による地名「千里」の使用とその意味
		(社会・福祉)
10:00	514 永井 遥* (オックスフォード大・院)・久保純子 (早稲田大)：イギリスと日本における河川再生事業の比較—日本に適した河川再生の構築を目指して	614 高橋 裕 (法政大・院)：現代の不安定居住者層集中地域の特徴—大田区蒲田を事例に
10:20	515 小寺浩二 (法政大) ほか：「身近な水環境全国一斉調査」の結果から見た新河岸川流域の水環境特性	615 柴辻優樹 (無所属)：東京都におけるひとり親世帯の地理的分布と集積
10:40	516 白岩孝行 (北海道大) ほか：陸域から河川・海洋への溶存鉄供給—流域の森林面積比と溶存鉄濃度の関係	616 田中健作 (豊田工業高専)：山村におけるボランティア有償運送の継続と地域志向型ライフスタイル—徳島県上勝町の事例
11:00	517 矢巻 剛 (法政大・学) ほか：長崎県島嶼の水環境特性と形成要因 (1)	617 松岡由佳 (奈良女子大・学振DC)：英語圏の地理学におけるメンタルヘルス研究の展開
11:20	518 大八木英夫* (日本大)・濱 侃 (千葉大・学振DC)：日光・湯ノ湖における温水の拡散とその影響範囲の推定	618 田中雅大 (学振PD・名古屋大)：障害と技術の関係をめぐる地理学的諸問題
11:40	519 田林 雄* (関東学院大)・小室 隆 (山口大)：小型水中ロボット (sROV) を用いた水中植生および地形の測量	619 佐藤彩子 (三重大)：大分市の介護サービス専門職従事者の通勤圏
12:00	昼 休 み	

第1日目 3月22日 (木) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈移動・移民〉</p> <p>711 傅 鼎 (大阪大・院) : 中国の縁辺地域における人口移動に関する研究—河西回廊の山丹軍馬場を事例に</p> <p>712 松宮 昌子 (明治大・学振DC) : ゲル地区居住者にもみる, ウランバートルへの移住・移動と定着</p> <p>713 清水昌人 (社会保障・人口問題研) : 民族集団のすみわけの分析手法に関する近年の研究動向</p> <p>714 市川康夫 (学振PD・明治大) ほか: フランス・ジュラ農村にみる移住者の増加と田園生活—フランシュ・コンテ地域圏, カンティニ村の事例</p> <p>715 大石太郎 (関西学院大) : カナダ, モントリオール大都市圏における非公用語話者の居住パターン</p> <p>716 高橋昂輝 (香川大) : トロントの高齢ポルトガル系移民による二地域居住と環大西洋生活圏の形成</p> <p>717 平川 亨 (明治大・院) : ハワイ島コナ地域における日本人移民の移動と定着</p> <p>718 申 知燕 (東京大・院) : ロンドンにおける韓人移住とトランスナショナルリズム—移住者の居住地選択および教育経験を事例に</p> <p>719 鷹取泰子* (農政調査委員会)・佐々木リディア (首都大) : 農山村地域における流動者の貢献と可能性—ボランティア活動の国際的なマッチングシステムの活用事例から</p>	<p>〈海外地域研究 (中国)〉</p> <p>811 小島泰雄 (京都大) : 深圳の農村はいかにして無くなったのか</p> <p>812 小野寺 淳 (横浜市立大) : 深圳における都市開発と城中村の土地権利関係—皇崗村と湖貝村の事例から</p> <p>813 李 小妹 (横浜市立大・客員研) : 深圳華僑城における都市空間の生産と文化の商品化</p> <p>814 高橋健太郎 (駒澤大) : 深圳市のムスリム関連施設の分布と特徴</p> <p>815 松村嘉久 (阪南大) : 深圳におけるグラフィティと都市空間の諸相</p> <p>816 柴田陽一 (摂南大) : 深圳における越境通学児童の発生要因と現状</p> <p>817 阿部康久 (九州大) ほか: 中国の日系自動車メーカーにおけるディーラーの分布と修理・メンテナンス用部品の管理システム—广汽トヨタ社を事例として</p> <p>〈海外地域研究 (産業)〉</p> <p>818 杉山武志 (兵庫県立大) : ドイツにおける日系企業集積のプレゼンスをめぐる考察</p> <p>819 小泉茜彩子 (筑波大・院) : 新興市場の周辺部における多国籍企業による地域への影響—ロシア沿海地方における日露合併自動車生産企業を事例として</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第1日目 3月22日 (木) 午前

開始時刻	第 9 会 場	
9:00		
9:20	<p>〈海外地域研究（ヨルダン）〉</p> <p>911 加藤幸治（国土館大）：ヨルダンにおける人口・産業の「地域構造」</p>	
9:40	<p>912 小原丈明（法政大）：ヨルダンの都市とアカバの性格</p>	
10:00	<p>913 長谷川 均（国土館大）：土地利用からみたヨルダン渓谷の変貌</p>	
10:20	<p>914 佐々木明彦（信州大）ほか：ヨルダン中央高原の河谷にみられるQa'aの形態的特徴</p>	
10:40	<p>915 東郷正美（法政大）：ヨルダンにおける火山とその分布</p>	
11:00	<p>〈海外地域研究（その他）〉</p> <p>916 生井澤幸子（川村学園女子大）：トラヴェ川沿岸域の開発とリユース港</p>	
11:20	<p>917 山下博樹*（鳥取大）・北川博史（岡山大）：オーストラリアにおける砂漠都市の大都市化・ゴースト化の動向</p>	
11:40	<p>918 伊藤徹哉（立正大）：「ドイツにおけるヨーロッパ大都市圏」の機能的結合に関する地域的特徴</p>	
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第1日目 3月22日 (木) 午後

第 1 会 場	第 2 会 場	開始時刻
	シンポジウムS2 (公開)	
	新学習指導要領とジオパーク	13:00
	日本地理学会ジオパーク対応委員会 後援) 日本ESD学会・ 日本ジオパークネットワーク	13:20
	オーガナイザー：河本大地 (奈良教育大)・ 有馬貴之・(帝京大)・ 柚洞一央 (徳山大)	
	13:00-13:05 [趣旨説明] S201 河本大地・有馬貴之・柚洞一央	13:40
	座長：河本大地 (奈良教育大)	
	13:05-13:45 S202 及川幸彦(東京大):新学習指導要領の基 盤としてのESDとジオパークの活用	14:00
	13:45-14:10 S203 志村 喬 (上越教育大) : これからの地 理・社会科教育におけるジオパークの 可能性	14:20
	〔休憩および各ジオパークのブース開設①〕	
	座長：柚洞一央 (徳山大)	14:40
	14:35-15:47 S204 杉山俊明 (遠軽町郷土館) : 白滝ジオ パークと北海道遠軽高等学校の教育	15:00
	15:47-15:59 S205 上野莉紗 (三笠ジオパーク) : 三笠ジ オパークと学校教育	
	15:59-15:11 S206 中三川洸太 (湯沢市ジオパーク推進協 議会) : ゆざわジオパークで育む郷土 への関心—学校教育を補完するジオ パーク学習	15:20
	15:11-15:23 S207 中川理絵*・小林美月 (栗駒山麓ジオ パーク推進協議会) : 学校教育とジオ パークの協働活動について—栗駒山麓 ジオパーク学習の実践から	15:40
	〔休憩および各ジオパークのブース開設②〕	16:00
	15:50-16:30 [総合討論] 座長：有馬貴之 (帝京大)	16:20
		16:40
		17:00

第1日目 3月22日 (木) 午後

開始時刻	第 3 会 場	第 4 会 場
	シンポジウムS3 (公開)	〈地形〉
13:00	<p style="text-align: center;">防災の基礎としての地形分類図</p> <p style="text-align: center;">日本地理学会災害対応委員会</p>	421 大西健夫 (岐阜大) ほか：ソフロン川流域湿地における永久凍土活動層厚の時系列変動推定
13:20	<p>オーガナイザー：久保純子 (早稲田大) ・平井幸弘 (駒沢大)</p>	422 田代悠人 (東京農工大) ほか：永久凍土の季節的変動が溶存鉄の挙動に与える影響
13:40	<p>13:05-13:25</p> <p>S301 海津正倫 (奈良大)：わが国における地形分類図の普及と展開</p>	423 久保 匠 (北海道大・院) ほか：衛星リモートセンシングを用いたアムール川流域における永久凍土の探査
14:00	<p>13:25-13:40</p> <p>S302 岡谷隆基*・宇根 寛 (国土地理院)：国土地理院の地形分類への取組</p>	424 奈良間千之 (新潟大) ほか：天山山脈北部、イシク・クル湖流域における氷河湖の面積変動と地形環境
14:20	<p>13:40-13:55</p> <p>S303 渡部 元 (国交省国土政策局)：国土調査法に基づく「土地分類基本調査」としての地形分類図について</p>	425 澤柿教伸 (法政大) ほか：平衡線決定モデルを用いた立山周辺の現成氷河および多年生雪渓の質量収支特性の解析
14:40	<p>14:00-14:10</p> <p>S304 石丸 聡* (北海道立地質研)・西村智博 (国際航業)：治水地形分類図の有効性と寒冷地域特有の地形の問題—北海道地区の例</p>	426 福井幸太郎 (富山県立山カルデラ砂防博物館) ほか：飛騨山脈の現存氷河の特性
15:00	<p>14:10-14:20</p> <p>S305 小野映介 (新潟大)：沖積平野を対象とした地形分類の問題点</p>	427 曾根敏雄* (北海道大)・渡邊達也 (北見工業大)：北海道、大雪山の風衝砂礫地における永久凍土の分布下限
15:20	<p>14:20-14:30</p> <p>S306 古田 昇 (徳島文理大)：地形分類図を用いた地形研究と普及活動—徳島地区を例に</p>	428 今村友則* (筑波大・院)・池田 敦 (筑波大)：三国山脈平標山における雪食裸地の侵食深と侵食プロセス
15:40	<p>14:35-14:50</p> <p>S307 三橋さゆり (国交省利根川上流河川事務所)：河川管理における治水地形分類図の活用</p>	429 長谷川裕彦 (明星大) ほか：南アルプス南部、千枚岳東面上千枚沢の岩屑なだれ堆積物
16:00	<p>14:50-15:05</p> <p>S308 西村智博 (国際航業)：地形分類図—製作から利用まで</p>	
16:20	<p>15:05-15:20</p> <p>S309 浅川俊夫 (東北福祉大)：中等地理教育における地形分類図の活用と課題</p>	
16:40	<p>15:30-16:00 [コメント・総合討論]</p> <p>コメント：関口辰夫 (国土地理院) ほか 総括コメント：熊木洋太 (専修大)</p>	
17:00		

第1日目 3月22日(木)午後

第 5 会 場	第 6 会 場	開始時刻
<p>〈気候〉</p> <p>521 松本健吾（岡山大・院）ほか：長期データからみる東日本の梅雨最盛期における多降水年の特徴に関する気候学的解析（その2）</p> <p>522 森下秀城（岡山大・学）ほか：11月初め頃における日本付近での冬型出現頻度の季節的増加と広域場の背景（1995年の事例を中心に）</p> <p>523 大和広明（長野県環境保全研）ほか：長野市における夜間のヒートアイランド強度の時系列変化と冷気湖の発達との関係</p> <p>524 中村祐輔（立正大・院）ほか：ドップラーライダーにより観測された長野市裾花川谷プロジェクトの立体構造（その1）</p> <p>525 渡来 靖（立正大）ほか：ドップラーライダーにより観測された長野市裾花川谷プロジェクトの立体構造（その2）</p> <p>526 中川清隆（立正大）：地表面顕熱フラックス分布が非一様な場合のSummers型都市境界層厚の式</p> <p>527 西 暁史*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：気温変化に着目した局地風「空っ風」の分類</p> <p>528 瀧本家康（神戸大附属中等教育学校）：神戸市東部における六甲山地の山風の実態調査</p>	<p>〈災害〉</p> <p>621 岩船昌起（鹿児島大）：霧島山えびの高原における噴火警戒レベルと「災害危険区域」—活火山の“持続的な利用”に関わる一考察</p> <p>622 内藤健裕*（北海道大・院）・橋本雄一（北海道大）：積雪寒冷都市における津波災害時避難困難人口の変化</p> <p>623 連 暁（筑波大・院）：大規模水害による人的被害の時空間分析—東京都葛飾区を事例として</p> <p>624 加藤周人（横浜国立大・院）：福島県いわき市の水産物流通における原子力災害からの復興—担い手の視点から</p> <p>625 森 康平（上越教育大・院）ほか：避難行動の課題を踏まえた津波防災学習の提案</p> <p>626 岩本廣美*（奈良教育大）・栗谷正樹（奈良教育大・院）：災害の記録とその教材化—沖縄島に來襲したチリ地震津波の事例</p> <p>627 坪井塑太郎（ひょうご震災記念21世紀研究機構）ほか：自治体の危機管理部局における退職自衛官の着任状況と災害対応技術</p>	<p>13:00</p> <p>13:20</p> <p>13:40</p> <p>14:00</p> <p>14:20</p> <p>14:40</p> <p>15:00</p> <p>15:20</p> <p>15:40</p> <p>16:00</p> <p>16:20</p> <p>16:40</p> <p>17:00</p>

第1日目 3月22日(木) 午後

開始時刻	第 7 会 場	第 8 会 場
	〈地図・GIS〉	〈歴史・文化〉
13:00	721 野上道男(東京都立大名誉教授)：伊能中図における富士山への見通し線と磁気偏差	821 古関大樹(京都女子大・非常勤)：旧豊岡地域の明治の地籍図に関する研究
13:20	722 宇都宮陽二郎(三重大名誉教授)：画像の中の地球儀(その4)―米国大統領の地球儀：大統領による地球儀への視点の違い	822 細井将右(地図情報研)：明治初期フランス地図測量技術の導入とその後―全国地形図測量と工兵測量の分離
13:40	723 堤田成政(京大)：格子データにおける精度評価指標の空間拡張	823 佐藤弘隆(立命館大・学振DC)：町文書のデジタルアーカイブからみた近代京都における祭礼運営
14:00	724 立木咲希(首都大・学)ほか：Landsat7衛星画像を用いたオブジェクトベース手法とピクセルベース手法による地表分類の比較―熊本を事例に	824 前田一馬(立命館大・院)：明治期における転地療養に相応しい場所の発見―陸軍脚気転地療養地としての軽井沢
14:20	725 米島万有子(熊本大)ほか：日本における Dengue 熱の流行リスク分布の推定	825 松浦 誠(駒澤大・院)：天理市における天理教景観の変遷
14:40	726 スプレイク・デイビッド(農業・食品産業技術総合研究機構)：流域内における「谷津田」の分布と周辺地利用	826 米家泰作(京大)：近代日本のコロニアル・ツーリズムとハル濱―帝国の前線と「ロシア」体験
15:00	727 原 雄一(京都学園大)：長距離自然歩道のクラウドGISによるナショナルトレイル構想	〈食と文化〉
15:20	〈地理教育〉	827 高柳長直(東京農業大)：食のメンタルマップ―牛肉ブランド認知の地域差
15:40	728 今井 修(ジー・リサーチ)ほか：鳥獣対策におけるボードゲームの可能性	828 平山 弘(阪南大)：岩手県一関市 菓匠松栄堂のローカルニッチ戦略―近きもの喜びで遠きもの来る
16:00	729 今井英文*(山陽学園大・非常勤)・神田竜也(岡山後楽館高・非常勤)：高校地理におけるウォークラリー巡検の実践	829 遊佐順和(札幌国際大)：北海道の昆布がもたらす食文化の地理的多様性
16:20		
16:40		
17:00		

第1日目 3月22日 (木) 午後

第 9 会 場	第 10 会 場	開始時刻
<p>〈訪日観光〉</p> <p>921 金 玉実 (中国・青島大) : 中国における訪日観光送出プロセス—青島市を事例に</p>	<p>シンポジウムS1 (公開)</p> <p>これからの地理学と日本地理学会 —「新ビジョン」の目指すもの— 日本地理学会企画専門委員会</p>	13:00
<p>922 澁谷和樹 (立教大・院) : 訪日外国人旅行者による市町村間移動のネットワーク構造</p>	<p>13:00-13:05 [趣旨説明] S101 鈴木厚志 (企画専門委員会委員長・立正大)</p>	13:20
<p>923 杜 國慶 (立教大) : ビッグデータにみる東京23区の外国人旅行者時空間分布</p>	<p>13:05-13:15 戸所 隆 (日本地理学会会長・高崎経済大名誉教授) : グランドビジョンから新ビジョンへ</p>	13:40
<p>〈土木・建設〉</p> <p>924 白井伸和 (倉敷市役所) : 縁辺地域における土木業の役割に関する考察—A県B市C地区を事例として</p>	<p>13:15-13:30 [新ビジョンのめざすもの] S102 村山祐司 (日本地理学会理事長・筑波大) : 『新ビジョン (中期目標)』の概要と方向性</p>	14:00
<p>925 水口 遙 (明治大・院) : 近年の松山都市圏における地元開発業者による住宅地開発の動向</p>	<p>13:30-14:30 [新ビジョンによる提案] 呉羽正昭・堤 純 (筑波大) : 学術大会の活性化 井田仁康 (筑波大) : 地理教育の振興 鈴木厚志 (立正大) : アウトリーチ活動</p>	14:20
<p>926 石川慶一郎 (名古屋大・院) : 東京都区部における公営住宅の建て替えの空間的特性</p>	<p>鈴木康弘 (名古屋大) : 国際化 久保純子 (早稲田大) : 会員サービス 菅本健二 (早稲田大) : 財務基盤、運営体制の強化</p>	14:40
<p>〈人口〉</p> <p>927 秋山祐樹* (東京大)・秋山千亜紀 (筑波大) : 建物マイクロジオデータを用いた全国の孤立住宅の分布把握</p>	<p>14:40-15:20 [新ビジョンに期待するもの] 碓井照子 (奈良大名誉教授) 氷見山幸夫 (北海道教育大名誉教授) 長谷川直子 (お茶の水女子大) 岡橋秀典 (広島大)</p>	15:00
<p>928 鈴木 允 (横浜国立大) : 大正・昭和初期における山村地域からの出寄留増加の実態—愛知県東加茂郡賀茂村『寄留届綴』の分析から</p>	<p>15:20-16:00 [質疑応答]</p>	15:20
<p>929 小池司朗 (社会保障・人口問題研) : 地方都市における人口移動傾向の変化—「新潟県人口移動調査」を用いた1980～2015年の分析</p>		15:40
		16:00
	<p>16:30 表彰式</p>	16:20
		16:40
	<p>17:00 会長講演</p>	17:00

第2日目 3月23日（金）午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	シンポジウムS6（公開）	シンポジウムS5
9:00	地理教材としての景観写真の活用術 日本地理学会理事会 オーガナイザー：加賀美雅弘・荒井正剛・ 椿 真智子	若者×観光×地理学 —大都市の若者にみる オルタナティブな観光・レジャーの可能性— オーガナイザー：杉本興運・飯塚 遼・ 池田真利子・磯野 巧・太田 慧
9:20	9:30-9:35〔趣旨説明〕加賀美雅弘 9:35-9:45 S601 椿 真智子（東京学芸大）：景観写真で 読み解く身近な地域の生活景	9:30-9:40〔趣旨説明〕 S501 杉本興運（首都大）ほか：若者×観光 ×地理学—大都市の若者にみるオルタ ナティブな観光・レジャーの可能性
9:40	9:45-9:55 S602 荒井正剛（東京学芸大）：景観写真教 材の活用について—組写真を工夫して	9:40-9:55 S502 杉本興運：若者による活動種別の観 光・レジャー特性—東京大都市圏を対 象としたWebアンケート調査より
10:00	9:55-10:05 S603 青木 久（東京学芸大）：景観写真と図 で読み解く海岸の地形	9:55-10:10 S503 上原 明*（首都大・院）・杉本興運：若者 による東京大都市圏のイメージとその魅力
10:20	10:05-10:15 S604 澤田康徳（東京学芸大）：景観写真で 読み解く気候—教員養成における写真 活用の学習の必要性	10:10-10:25 S504 福井一喜（筑波大・研）：東京大都市 圏における若者の観光・レジャー情報 の受発信とSNS
10:40	10:15-10:25 S605 牛垣雄矢（東京学芸大）：景観写真で 読み解く工業都市川崎の変化	10:25-10:40 S505 磯野 巧（三重大）：若者による訪日外国人 旅行者に対する観光ボランティアガイ ド活動の様相—東京都渋谷区の事例
11:00	10:25-10:35 S606 中村康子（東京学芸大）：景観写真で 読み解く山地の農村	10:40-10:55 S506 小池拓矢（むつ市企画部）・杉本興運* ほか：若者によるアニメに関連した観 光・レジャーの特徴と多様性
11:20	10:35-10:45 S607 橋村 修（東京学芸大）：景観写真で 読み解くアジアの海辺・水辺	10:55-11:10 S507 飯塚 遼（秀明大）：若者のフードツー リズム対象としてのクラフトビールイ ベントの可能性
11:40	10:45-10:55 S608 加賀美雅弘（東京学芸大）：都市の景 観写真で読み解くドイツ	11:10-11:25 S508 太田 慧（首都大）ほか：若者によるナ イトライフ観光の利用特性—東京湾納涼 船の利用者アンケートの結果からの考察
	10:55-11:05〔コメント〕池 俊介（早稲田大） 11:05-11:30〔総合討論〕 座長：荒井正剛・椿 真智子	11:30-12:00〔質疑応答・ディスカッション〕
12:00	昼 休 み	

第2日目 3月23日（金）午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p>〈地理教育〉</p> <p>331 吉田 剛（宮城教育大）：幼稚園教育要領と小学校学習指導要領解説（生活・社会編）にみる隠れた地理的概念</p> <p>332 山口幸男（群馬大名誉教授）：学習指導要領中学校地誌学習の論理的破綻</p> <p>333 中村秀司*（鳥取西高）・クラロビッチ・ステファン（カーボロ高）：ESDを推進するプロジェクト学習に関する授業実践—スマートグロースを活用した「アーバンデザインプロジェクト」</p> <p>334 木場 篤（ノートルダム清心中高）：地誌学習における「地理的スケール」を援用した深い学びの実践—アクティブ・ラーニング型授業の批判的検討に向けて</p> <p>335 金森正郎（北海道小樽潮陵高）：屯田兵村の集落形態は散村か？</p> <p>336 栗栖悠貴*・稲澤容代（国土地理院）：地形を切り口とした教科横断的な学習や地域学習の支援ができる地理院地図</p> <p>337 伊藤智章（静岡県立裾野高）：「デジタル地図帳」を用いたアクティブ・ラーニング型地誌学習の実践—高等学校地理A「オーストラリアの地誌」を例に</p> <p>338 小林岳人*（千葉県立千葉高）・吉崎薫平（早稲田大・学）：教育実習におけるGIS</p> <p>339 山内啓之（東京大）ほか：GIS初学者のためのWebGISの実習用教材の開発</p>	<p>〈地形〉</p> <p>431 北村 繁（弘前学院大）：中米・エルサルバドル東部バカヤル火山周辺地域に堆積するテフラの主成分化学組成</p> <p>432 宇津川喬子*・鈴木毅彦（首都大）：日本列島における火山災害としての極低頻度巨大噴火VEI=7の評価</p> <p>433 鈴木毅彦（首都大）：火山灰編年学にもとづく東北日本弧内陸盆地の地形発達史構築</p> <p>434 阿子島 功（山形大名誉教授）：低湿地遺跡の環境復元と泥炭層の分解度</p> <p>435 鹿島 薫（九州大）ほか：モンゴル・アルタイ山地における珪藻分析を用いた湖沼の環境変動史の復元</p> <p>436 高場智博*（明治大・院）・吉田英嗣（明治大）：地形計測に基づく日本列島における扇状地と集水域の発達過程</p> <p>437 渡辺満久*（東洋大）・越谷 信（岩手大）：北上低地帯北部における地形・地質構造の再検討</p> <p>438 植木岳雪（千葉科学大）：四国南東部、安田川の完新世段丘</p> <p>439 木庭元晴（関西大）：飛鳥川争奪の発見から斉明期の付け替えの確証へ—飛鳥川線状谷の河岸段丘と遺跡配置から</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月23日 (金) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<p><気候></p>	
9:00	531 三上岳彦*・平野淳平 (帝京大) : 気候変動による諏訪湖「御神渡」発生頻度の激減	
9:20	532 久保田尚之 (北海道大) ほか: 外国船の航海日誌に記載された気象データから復元する江戸時代後期の日本周辺の気候	<p><産業></p>
9:40	533 坂田晴香* (三重大・院)・立花義裕 (三重大) : 最終氷期最盛期から間氷期における気候遷移と考古遺跡分布の時空間的推移	631 麻生紘平 (筑波大・学振DC) ほか: 研究学園都市周縁部における中小規模製造業事業所と研究機関の取引連関—茨城県筑波研究学園都市を事例に
10:00	534 菅野洋光 (農業環境変動研究センター) ほか: 相対湿度を用いた1kmメッシュのイネ葉面濡れ時間予測マップ	632 植草昭教 (無所属) : 浦安鉄鋼団地の立地理由と形成過程—鉄鋼卸売・加工業の集積地に関する考察
10:20	<p><植生></p>	<p><都市></p>
10:20	535 濱 侃 (千葉大・学振DC) ほか: UAVリモートセンシングに基づく水稻の玄米タンパク含有率推定と味のグラフ化	633 Wang, R. (Grad. Student, Univ. of Tsukuba) : Simulating the Future Land Use/Cover in the Tokyo Metropolitan Area
10:40	536 小川滋之 (千葉大) : イギリス, ロンドン郊外の丘陵地にみられるハリエンシダ群落の特徴	634 須崎成二 (東京学芸大・院) : 東京都新宿区新宿二丁目におけるゲイバーの立地傾向と再生産構造
11:00	537 田中艸太郎 (慶応義塾高・非常勤) : 国土地理院空中写真による亜高山帯林縞枯れのおよそ30年間の移動	635 小畑きいち (日本専門家活動協会) : 東京圏郊外都市中心市街地における大規模店舗の推移から見る課題考察
11:20	538 安田正次 (アジア航測) : 衛星画像を用いた南鳥島の植生図の更新	636 本多広樹 (筑波大・院) : 都市政策における先端技術の普及—神奈川県横浜市を事例として
11:40	539 渡邊稜也 (日本大・院) ほか: 秋吉台北部におけるドリーネ堆積物中の微化石からみた草地景観の成立時期	<p><行動></p>
		637 山田育徳* (中央大)・眞田佳市郎 (中央大・院) : 住民の歩行行動および健康状況と近隣住環境に関するアンケート調査についての報告
12:00		638 潘 瑞雪 (大阪大・院) : 大学生の生活行動の特性に関する考察—重慶大学城を事例として
	昼 休 み	

第2日目 3月23日 (金) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
<p>〈地域文化〉</p> <p>731 大城直樹 (明治大) : 「地域文化」の概念的整理と現象分析への展開</p> <p>732 島津俊之 (和歌山大) : 風景のアーカイヴズ再考—マリアヌ・ノース・ギャラリーと風景画</p> <p>733 福田珠己 (大阪府立大) : プロジェクション・マッピングと公共空間の商品化</p> <p>734 中島弘二 (金沢大) : 松下竜一と安里清信の環境主義—環境権から生存権へ</p> <p>735 遠城明雄 (九州大) : 都市祭礼と地域意識の変容</p> <p>736 山口 晋 (目白大) : 野外音楽フェスティバルの盛衰と地域社会とのかかわり</p> <p>737 神田孝治 (立命館大) : 観光地における自由と歓待—与論島を事例とした考察</p> <p>738 関戸明子 (群馬大) : 昭和初期における群馬県の観光プロモーションの特徴</p> <p>739 濱田琢司 (南山大) : 47都道府県を展示する—「d47」と現代の地域文化消費</p>	<p>〈海外地域研究 (カナダ)〉</p> <p>831 矢ヶ崎典隆* (日本大) ・矢ヶ崎太洋 (筑波大・学振DC) : カナダのオカナガンバレーにおけるワイン生産地域とワインツーリズムの展開</p> <p>832 菊地俊夫 (首都大) ほか : トンプソン・カリブー地域における大規模牧畜農場の再編とそれともなう農村空間の商品化</p> <p>833 田林 明* (筑波大名誉教授) ・菊地俊夫 (首都大) : カナダ・プリティッシュコロンビア州における農村空間の商品化による都市—農村共生システム</p> <p>〈山村観光〉</p> <p>834 五艘みどり (帝京大) : 南チロルのアグリツーリズム経営における農村女性の関わり</p> <p>835 河本大地 (奈良教育大) ほか : 山間地域における世界遺産観光とグリーンツーリズムの持続可能性—熊野古道 (小辺路) の通る奈良県十津川村神納川区の事例から</p> <p>836 能津和雄 (東海大) : 熊本県南小国町黒川温泉に関するウェブサイト掲載情報の関心の推移について</p> <p>〈文化生態〉</p> <p>837 相馬拓也 (早稲田大) ほか : アルタイ山脈の在来カザフ語地名と土地利用観の民族地理学</p> <p>838 高木 仁*・池谷和信 (国立民族学博物館) : アマゾン川上流, 密林の都イキトスとベレン市場の食肉鮮魚</p> <p>839 藤岡悠一郎 (九州大) : 南アフリカにおける非木材林産物の商品化と資源管理—企業と協同組合によるマルーラ製品の販売</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 3月23日（金）午前

開始時刻	第 9 会 場	
	〈海外地域研究（東アジア）〉	
9:00	931	鄭 国全*（中国浙江農林大）・高橋健太郎（駒澤大）：中国における農村地理学研究的現状と課題
9:20	932	原 裕太*（京都大・院）・西前出（京都大）：退耕還林期・陝北黄土高原における農牧生産構造の時空間変動
9:40	933	板垣武尊（立教大・院）：中国雲南省元陽におけるフラッシュパッカー向け宿泊施設の評価
10:00	934	周 宇放（筑波大・院）：三峡地域における観光発展の特徴—重慶市巫山県を事例として
10:20	935	呂 帥（立教大・院）：大都市近郊における農村観光の発展とルーラリティの関係—上海市崇明区前衛村を事例として
10:40	936	鄭 玉姫（立教大）：韓国・済州島における移住者増加からみた観光施設の立地分布
	〈海外地域研究（東南アジア）〉	
11:00	937	平井幸弘（駒澤大）ほか：ベトナム中部グエン朝歴代皇帝陵における伝統的水利システムの再生
11:20	938	遠藤 尚（高知大）：西ジャワ高地地域農村における野菜生産による自然資源への影響
11:40	939	向後紀代美（元東北学院大）：急変するミャンマーの村でのNGO活動—エーヤワディ河口域を事例として
12:00	<p style="font-size: 2em; margin: 0;">昼 休 み</p>	

第1・2日目 3月22・23日 (木・金)

ポスター会場

ポスター発表は、3月22日(木)10時～16時および3月23日(金)9時～12時の間、ポスター会場で行われます。発表者による説明は、口頭発表が設定されている時間内において、説明者が指定する時間に行われます。説明時間はそれぞれのポスターに掲示してあります。

- P101 鈴木重雄(駒澤大)：広島県庄原市の一集落における16年間の植生変化
- P102 井口 豊(生物科学研)：2014年長野県北部地震における神城断層沿いの森林被害の特徴
- P103 手代木功基(摂南大)：ケニア山, Tyndall氷河の後退域における大型半木本性植物の分布とその要因
- P104 山下亜紀郎(筑波大)ほか：ブラジル・セルトンの水文環境と人間活動(9) 一日系入植者たちの社会・経済の変遷
- P105 吉田圭一郎(横浜国立大)ほか：ブラジル・セルトンの水文環境と人間活動(10) 一灌漑による水文環境の変化が周辺植生に与える影響
- P106 宮岡邦任(三重大)ほか：ブラジル・セルトンの水文環境と人間活動(11) 一灌漑による塩類集積の検討
- P107 中野智子(中央大)ほか：モンゴル草原生態系に対する遊牧家畜の影響評価
- P108 Darshana, A.A.S. (Grad. Student, Univ. of Tsukuba) : Monitoring of Urban Wetland Cover Changes in Western Sri Lanka: Using Remote Sensing and GIS
- P109 榎木万作(法政大・学)ほか：2017年7月九州北部豪雨被災地の水環境に関する水文地理学的研究
- P110 山崎康熙(法政大・学)ほか：十勝川流域の水環境に関する水文地理学的研究
- P111 諸星幸子(法政大・学)ほか：草津白根山周辺地域の水環境に関する研究
- P112 乙幡正喜(法政大・学)ほか：狭山丘陵周辺の水環境に関する水文地理学的研究(1)
- P113 赤坂郁美(専修大)ほか：マニラにおける19世紀後半の風向の日変化特性
- P114 市野美夏(情報・システム研究機構)ほか：古日記天候記録を用いた19世紀の日射量推定の試み
- P115 安藤成美*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大)：古日記の天候記録に基づく江戸時代末期～明治期の関東南西部における夏季の気候特性
- P116 藤宮健太郎*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大)：1897～2016年の夏季における北太平洋高気圧の分布と日本の気温・降水量との関係
- P117 釜堀弘隆(気象研)ほか：東海地方の降水量観測データレスキュー
- P118 永田玲奈*・三上岳彦(帝京大)：近年の北西太平洋に見られる台風の温帯低気圧化域の北上
- P119 江村亮平*(首都大・院)・松本 淳(首都大)：暖候期日本における大雨の季節変化とその地域分布
- P120 松浦 萌*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大)：奈良盆地北部における夏季日中の風の吹走パターンと気温分布との関係
- P121 重野拓基*(東京学芸大・学)・澤田康徳(東京学芸大)：熊谷市の小中学校における暑熱による保健室入室者数と気温および湿度の地域性
- P122 高橋信人(宮城大)：JRA-55を用いた日本付近の前線帯データ作成手法の検討
- P123 神居幸恵*(日本大・院)・森島 済(日本大)：山形盆地におけるオウトウ開花期間の天候とその出荷量に対する影響
- P124 遠藤怜子*(専修大・学)・赤坂郁美(専修大)：夏季に盤洲干潟が周辺の気温に与える影響
- P125 山口隆子(法政大)ほか：北関東内陸域における春季の強風による昇温現象
- P126 浜田 崇*・北野 聡(長野県環境保全研)：山地小溪流における約10年間の水温観測結果
- P127 鈴木秀和(駒澤大)：浅間山北麓鬼押し溶岩末端部における風穴と低温湧水の温度観測結果

第1・2日目 3月22・23日 (木・金)

ポスター会場

ポスター発表は、3月22日(木)10時～16時および3月23日(金)9時～12時の間、ポスター会場で行われます。発表者による説明は、口頭発表が設定されている時間内において、説明者が指定する時間に行われます。説明時間はそれぞれのポスターに掲示してあります。

- P128 河合貴之(国際航業)ほか:治水地形分類図からみた2016年8月北海道豪雨災害(その1)―災害の概要及び石狩川水系の被害状況
- P129 研川英征(国土地理院)ほか:治水地形分類図からみた2016年8月北海道豪雨災害(その2)―空知川水系の被害状況
- P130 西村智博(国際航業)ほか:治水地形分類図からみた2016年8月北海道豪雨災害(その3)―十勝川水系の被害状況
- P131 南雲直子*・江頭進治(土木研):赤谷川流域の地形特性からみた2017年九州北部豪雨災害による被災家屋の立地
- P132 青山雅史(群馬大):史料からみた2016年熊本地震「液化化の帯」における土地の履歴
- P133 村上由佳(国立公文書館)ほか:紀伊半島大水害時における孤立地域からの情報伝達に関する課題について
- P134 矢ヶ崎大洋(筑波大・学振DC):気仙沼市浦島地区における東日本大震災後の地域社会とレジリエンス
- P135 服部亜由未(愛知県立大)ほか:「海から目線」の防災―海上釣り客のための津波避難救援行動に関するGPS分析
- P136 観山恵理子(東京農工大):大規模自然災害の被災地域における社会関係資本の変容と農業の復興―東日本大震災の被災地(宮城県)を事例として
- P201 荻谷愛彦*(専修大)・松四雄騎(京都大):安倍川左岸・有東木における完新世の大規模マスマーブメント
- P202 小塚朋子*(専修大・学)・荻谷愛彦(専修大):巨摩山地・甘利山山塊における更新世後期以降の地すべり地の形成史
- P203 宝蔵蓮也(東京大・院)ほか:平成29年7月九州北部豪雨被災地における過去の土砂移動イベント復元の地形学的試み
- P204 岡岳宏(東京大・院)ほか:第四紀後期の鳥川上・中流域の段丘発達と地殻変動
- P205 高橋尚志*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):荒川上流域における最終氷期以降の支流の河床勾配および本流への土砂供給様式の変化
- P206 小松原 琢(産業技術総研):横手盆地北部の最終氷期前半の堆積段丘
- P207 舟津太郎(東京大・院)ほか:武蔵野台地構成礫層の層厚分布の特徴
- P208 泉田温人*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):鬼怒川下流域におけるクレバススプレー形成と微高地発達の関係
- P209 小野映介(新潟大)ほか:九十九里浜平野、片貝村における1703年元禄関東地震による津波被害
- P210 高玉秀之(新潟大・院)ほか:中央アジア・天山山脈北部域における氷河起源型岩石氷河の地表面変動
- P211 森 義孝(新潟大・院)ほか:地中レーダーを用いた氷河前面のデブリ地形内部に発達する空洞検出
- P212 有江賢志朗(新潟大・学)ほか:北アルプスにおける氷河・雪渓の質量収支と涵養・消耗の特性
- P213 櫻井尚輝(新潟大・学)ほか:南イニルチェック氷河における氷河上湖の日変動特性
- P214 早乙女真穂(新潟大・院)ほか:2017年8月4日に発生したラダック山脈、アチナータン村上流の氷河湖出水
- P215 小疇 尚(明治大名誉教授)ほか:十勝平野のアースハンモック
- P216 佐々木夏来*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):奥羽山脈における湿地分布と火山・地すべり地形および積雪深との関係
- P217 高瀬南歩*(東京学芸大・学)・青木久(東京学芸大):千葉県屏風ヶ浦における崖錐の高さと形成時間との関係―崖錐の地形発達に関する一考察
- P218 村木昌弘*(東京大・院)・須貝俊彦(東京大):礫層の堆積環境に基づく大磯丘陵東部の活構造の推定
- P219 高橋未央(弘前大・非常勤)ほか:小松平野における沿岸州の形成年代に関する検討―北陸新幹線工事のボーリングコアを用いて

第1・2日目 3月22・23日 (木・金)

ポスター会場

ポスター発表は、3月22日(木)10時～16時および3月23日(金)9時～12時の間、ポスター会場で行われます。発表者による説明は、口頭発表が設定されている時間内において、説明者が指定する時間に行われます。説明時間はそれぞれのポスターに掲示してあります。

- P220 関口辰夫(国土地理院)ほか:十勝平野における小丘状地形の分布について
- P221 原田悠紀*(東京学芸大・学)・青木久(東京学芸大):海岸域に形成されるタフォニとハニカム構造の形成条件—砂岩塊で構成される石垣を利用して
- P222 森山裕太*(東京学芸大・学)・青木久(東京学芸大):サンゴ礁海岸における波の波高減衰に関する実験的研究
- P223 中田 高(広島大名誉教授)ほか:フィリピンの活断層と海成段丘の分布からみた地震発生の地域性
- P224 森脇 広(鹿児島大名誉教授)ほか:九州の臨海平野の地形と完新世の地殻変動
- P225 後藤秀昭(広島大):石垣島の変動地形とその周辺の海底地形—海陸を統合した地形ステレオ画像による検討
- P226 佐藤 剛(帝京平成大)ほか:キルギス国・チュー川盆地の地形分類図を基に検討した中世都市遺跡の分布特性
- P227 廣内大助(信州大)ほか:糸魚川—静岡構造線活断層帯神城断層中北部における断層活動
- P228 佐藤 浩(日本大)ほか:SAR干渉画像から捉えた2016年熊本地震によるリニアメント変動
- P229 田中 圭(日本地図センター)ほか:地震断層の幾何形状と建物被害—2016年熊本地震益城町の事例
- P230 宇根 寛(国土地理院)ほか:阿蘇外輪山北西部断層群の「お付き合い地殻変動」は累積してきたか?(速報)
- P231 東 善広(琵琶湖環境科学研究センター)ほか:写真撮影法による表層河床材料の粒径分布の計測と応用
- P301 松尾忠直*(立正大)・高田明典(日本地図センター):UAVを用いた土地利用調査の試行
- P302 Dourdour, A. (Grad. Student, Univ. of Tsukuba): Onshore Wind Farm Suitability Analysis Using GIS-based Analytical Hierarchy Process: A Case Study of Fukushima Prefecture, Japan
- P303 木村祐介(筑波大・院):ヒュベニの間略式を用いた幾何補正の応用
- P304 後藤健介*(大阪教育大)・Panditharathne, N. G. S. (スリランカ保健省):スリランカにおける選挙人名簿から作成した住民分布図における年齢別居住特性の把握
- P305 矢部直人(首都大):地理的加重2次元回帰による高田城下町絵図の分析
- P306 呂 曉凱(筑波大・院):高齢者の歩行移動に関する最適経路の空間的評価—千葉県柏市光ヶ丘団地を事例に
- P307 Liu, F. (Grad. Student, Univ. of Tsukuba): Urban Spatiotemporal Dynamics Based on Impervious Surface Data: A Case Study of Tokyo Metropolitan Area
- P308 Gong, H. (Grad. Student, Univ. of Tsukuba): A Study on Urbanization and Future Sustainable Development in Shanghai Using Geospatial Predictive Models
- P309 紀 キン森(筑波大・院):中国・長春市都市中央部における大型商業施設の立地特性とその規定要因
- P310 川添 航(筑波大・院)ほか:茨城県大洗町におけるツーリズム形態の変容に伴う観光空間の再編
- P311 喜馬佳也乃(筑波大・院)ほか:茨城県大洗町における「聖地巡礼」に従事するアニメファンの分析
- P312 古河佳子(東京大・学):地域振興の全国的展開と開催地域間の連携—観光ひな祭りを事例として
- P313 安 哉宣(静岡英和学院大):沖縄における韓国人旅行者による受け入れ環境への評価
- P314 渡辺隼矢*(筑波大・院)・桐村 喬(皇學館大):写真付きSNS投稿データからみた観光地への関心の時系列変化
- P315 坂口 豪(首都大・院):浅間山北麓ジオパーク内の嬬恋中学校と嬬恋高校におけるジオパーク学習とその効果
- P316 新井教之(京都教育大附属高):サモアにおける環境教育の現状と課題

第1・2日目 3月22・23日 (木・金)

ポスター会場

ポスター発表は、3月22日(木)10時～16時および3月23日(金)9時～12時の間、ポスター会場で行われます。発表者による説明は、口頭発表が設定されている時間内において、説明者が指定する時間に行われます。説明時間はそれぞれのポスターに掲示してあります。

- P317 福井裕晋(首都大・院)ほか:学校教育におけるGISを活用した防災意識向上プログラムの手法の研究—社会科公民的分野の実践として
- P318 泉 貴久(専修大松戸高):地理的見方・考え方と市民性育成—探究プロセスを重視した高校「地理総合」の授業実践へ向けて
- P319 大津拓也*(東京学芸大・院)・澤田康徳(東京学芸大):時間スケール別の降水量認識と情報獲得—教職課程の大学生を対象として
- P320 伊藤直之(鳴門教育大):子どものシビックプライドを醸成する地域学習についての考察
- P321 伊藤千尋(広島女学院大):大学生が肌で感じたアフリカ—広島女学院大学国際教養学部「アジア・アフリカフィールドワーク」の取り組みとその効果
- P322 坂本優紀(筑波大・院)ほか:長野県上伊那地域における奉納煙火の現代的拡がり
- P323 上野莉紗*(三笠ジオパーク)・中三川 洸太(ゆざわジオパーク):ジオパークにおける地理学的研究活用の可能性—鉱山を介した歴史的な地域間結合の観点から
- P324 洪 明真(首都大・院)ほか:明治期の上野地域における景観変遷—内国勸業博覧会の関わりから
- P325 浦山佳恵(長野県環境保全研):長野県開田高原の1955年以降の草地利用の変化
- P326 Rathna, U. H. (Grad. Student, Nara Women's Univ.): Women Empowerment through Participation in Microcredit Programs: A Case Study of One Village in Bangladesh
- P327 兼子 純(愛媛大)ほか:カナダ・ブリティッシュコロンビア州のピースリバー地域における農村空間の商品化
- P328 北島晴美*・横山俊一(信州大):長野県における凍り豆腐消費の地域差
- P329 山元貴継(中部大)ほか:2006-17年の名古屋市におけるコンビニエンスストアの店舗再編
- P330 黒澤 隼(上越教育大・院):「多文化共生」概念に関する基礎的研究—「多文化共生」批判を中心に
- P331 伊藤修一(駒澤大・研):日本における軽乗用車保有率と既婚女性就業率との関係の空間分析
- P332 若林芳樹(首都大)ほか:子ども・子育て支援新制度の実施に伴う保育サービス供給の変化—那覇市の事例
- P333 久木元美琴(大分大):地方都市における保育所待機児童の発生状況と子ども・子育て支援新制度の影響—大分市の事例
- P334 森田匡俊(岐阜聖徳学園大)ほか:日本における外国人散居地域の分布に関する研究
- P335 小竹尊晴(東京大・学):島嶼地域へのライフスタイル移動における空間表象—沖永良部島・与論島を事例に
- P336 石川和樹*(首都大・院)・中山大地(首都大):交通量調査史料を用いた大正期東京におけるOD交通量推定
- P337 桐村 喬(皇學館大):都市雇用圏の中心都市における通勤・通学手段の変化—1990年から2010年
- P338 畠山輝雄(鳴門教育大)ほか:ローカル・ガバナンスの観点による地域包括ケアシステムの地域差の検討
- P339 山田親義(埼玉大・院)ほか:地方自治体における国有財産譲与図面の電子データ化の現状
- P340 佐々木 達(宮城教育大)ほか:中国内モンゴルにおける農牧業地域の変容と今後の研究課題
- P341 崎田誠志郎(名古屋大・学振DC):ギリシャ・ザキントスの海洋保護区をめぐる主体間関係と空間的特徴
- P342 田上善夫(富山大名誉教授)ほか:ニュージーランド, セントラルオタゴのブドウ栽培と気候環境
- P343 中川秀一(明治大)ほか:スコットランドにおける共有地創出の取り組み—ハリス・ルイス島における土地改革の展開
- P344 渡邊三津子(千葉大)ほか:インド北東部における焼畑農業の現代における実践—ナガランド州モコクチェン県の事例から